

21/2/26 名古屋市議会経済水道委員会 名古屋城部分

(名古屋市民オンブズマンによる、半自動文字起こしアプリによる文字起こし)

江上博之（共産・中川区）： 今日のところ最後ですけれども、名古屋城天守閣の実施設計の問題についてお聞きをしたいと思います。20年度実施設計で何をやってきたのかなあと、また何をやれなかったのかなと、こういうところ辺をお聞きしたいんです。

荒井主幹： 今本度ですね、実施業務といたしましたしましては、まず昨年度4月に文化庁に提出させていただきました現天守閣解体の現状変更許可申請、それに対しまして文化庁から指摘事項をいただいております。

そういった指摘事項の中に調査業務あるいは木造復元の計画、そういったものを提出してくださいと。石垣等遺構に影響ないような工事計画とすることを検証するための調査等をやってくださいというようなことがあります。

なので、そういったところをですね、まず優先的に行うということ今年度やっておりまして、設計業務といたしましたしましては、それらの文化庁の指摘事項対応するための図面の作成あるいは整理。調査業務としましては、石垣の調査、そういったものを重点的にやってきております。

ただですね、そういった指摘事項に対する業務を優先的にやるということで我々としては進めてきている中でありますので、それを優先的にやることによって今回繰り越しの要求させていただいております業務、地盤調査業務、そういったものをできなかったというような状況でございます。

江上博之（共産・中川区）： その今、文化庁の宿題ですね、その項目についてどこまで行ってるのか、それがまず知りたいんですよね。

ここまで行ってます、今度、年度末か年度初めになるんでしょうけど、今現実はまだ出来てるとは思うんですが、こういうものについて、ここまでの予定ですと、そういう項目に対する宿題それがわかる資料をお願いしたいんですがどうでしょうか。

荒川主幹： ご要求の資料を提出させていただきます。

江上博之（共産・中川区）： その中で今日聞いておきたい一つとして、天守閣北側の孕み問題があるじゃないですか。レーダー探査等を行ったところのことについてはどういう今の判断を結果的にね、調査やって思ってみえるんでしょうか。

村木副所長： 北側の、大天守北側の孕み出しでございますけれども、こちらの方はレーダー探査の方いたしましたして、その結果を先日の有識者会議にお諮りしたところでございます。

有識者会議にお諮りしたときにはですね、孕み出しで一番心配されておりました、大きな空洞があるかないかというところにつきまして、現在観察できる所見として見られる限りでは大きな空洞はないというようなところをご報告したところでございます。

江上博之（共産・中川区）： わかりました。

そんなことも含めてですねお願いしたいと。もう一点は実施設計で補正で今繰り越しをするということですが、今年度やったこと、繰り越しをすること。やれなかったこと、やらなかったこと、そこら辺がわかる金額も入れてですね、補正の中身を資料でお願いしたいんですがどうでしょうか。

荒井主幹： 資料を提出させていただきたいと思います。

委員長 鈴木孝之（減税・天白区）： はい浅井委員。

浅井正仁（自民・中川区）： すいません。繰越明許費ということでこの2月補正の二の丸庭園の保存整備これ400万ってのがありまして、主旨とかあるいは繰り越し理由いろいろ書いてあります。入札がなかったと、入札者がなかったというのがちょっと気になりましたんで。ちょっと確認という意味でお尋ねします。

まずはこの二の丸のこの余芳って言うんですか、余芳の繰越明許費に関してまずは事業ですね今までの経緯ってというのは、ちょっと教えていただけませんか。

鈴木室長： はい。名古屋城余芳つきまして、まずは事業の経緯を説明させていただきます。この余芳でございますが、江戸期の二の丸庭園に建てられておりました。広さが四畳半程度のいわゆる茶亭、休憩場所でございます。

名古屋城は明治20年初めに陸軍の所管になるわけですが、この陸軍期にその陸軍から民間に売却がされ個人所有となった後、昭和48年に名古屋市の指定有形文化財に指定してされております。

その後平成22年に所有者の方から名古屋市へご寄贈いただいたことから現在進めております二の丸庭園の整備の中で、有識者でありますとか文化庁と相談をしながら江戸期の元の位置の再建に取り組んでいると、こういった事業でございます。

浅井正仁（自民・中川区）： はい、わかりました。これで応札いわゆる入札が不調になったということがありまして、これ仮設の作業小屋というのはちょっと想像ができないんですが、どんなもんかちょっと教えていただけませんか。

鈴木室長： 現在部材につきましては解体された状態で保管をしておりますが、この後ですね、移築再建にあたり、実際に仮組みをする必要がございます、この仮組みを行うため

の作業スペースとして高さが6m位の内部空間を持つ仮設ハウスを立てるとこういった事業に取り組んでいます。

浅井正仁（自民・中川区）： 今仮設の小屋を作ってその部材を1回組み立ててみると当然部材が全部揃ってるとは思えないんで、いろいろと足りない部分も出てくると思うんですけど、この小屋を作るための応札者がなかったりっていうのはよくわからないですが、それはどうなんですか。

鈴木室長： 今回の入札でございますが、参加資格としましては市内の本店本支店営業所を有しているリース業者ということで、それ以外には条件を付しておりませんので広く参加を募ったものというふうに考えております。その上で事後いくつかの業者にヒアリングの方行っておりまして、その結果としましては一つには他の案件と作業時期が重なったことでありますとか、また他の業者さんからは一部標準品以外の部材があったことからその部材の手配が間に合わないと思って今回は見送ったと、会社ごとにちょっと違った要因があったというふうにお聞きをしておるところでございます。

浅井正仁（自民・中川区）： これ二の丸庭園にこういった四畳半って小さなものが今度できるんだらうというふうに思ってますけども、これに関しては何時頃までやるとかそういう目標とか目的とかありませんか、ちょっと教えてください。

鈴木室長： はい。今後の予算の話にも関わって参りますが、事業の見込みとしましては来年度以降、設計から工事に進みまして、数年以内での建築を目指しております。

浅井正仁（自民・中川区）： 二の丸庭園、僕も一度しかお邪魔したことないんですけど、そこにこういった本当に小さな余芳というんですか、茶屋ができるとまた風格も良くなるなというふうに期待しておりますので、ぜひともうまく作っていただきたいということをおきます。以上です。

委員長 鈴木孝之（減税・天白区）： 他に。はい他にないようであります。それではこれ迄の主要議題について当局より発言があればお許しいたしますがよろしいですか。

はい、それは資料の提出時期につきましては、3月2日火曜日の総括質疑の日ということでご了承願います。尚、ご要求のございました資料の調整につきましては正副委員長一任の扱いでよろしいでしょうか。はいそれでは左様取り扱わせていただきます。

以上で観光文化交流局を終了いたします。

本日の予定は以上であります。

次回は3月1日月曜日午前10時30分から、上下水道局関係の付議議案に対する質疑を行います。

これにて本日の委員会を散会いたします。お疲れさまでした。